

バス停からの 小さな旅



日々のせわしい暮らしで、通り過ぎてしまっている場所。ちょっと足を止めて見てみると、今まで気が付かなかったものや景色など、思いがけない発見をすることがあります。身近なところこそ、面白いものはいっぱいあります。
今月からは、市のコミュニティバス「あい愛バス」に乗り、バス停から少し歩くことで味わえる「ちよっとした旅」を皆さんに紹介していきます。

01 バス停「深渡公民館（むくの木・そうきち線）」から旧青柳橋跡を歩く

森山町と対岸の下米田町西脇との間は、現在は立派な青柳大橋が架かり、人の行き来がさかんです。

かつて、この飛騨川では渡し船によって物資が運ばれていましたが、兩岸とも断崖で危険なため、1891（明治24）年に木製の橋が架けられました。アーチ型の形状から「虹の架け橋」と称賛されたといわれています。

兼山、八百津との行き来や小山観音を参詣する人が多くなったこともあり、1927（昭和2）年には鉄橋に架け替えられ周辺には多くの商店が並ぶようになりました。

1997（平成9）年3月に青柳大橋ができた後、古い青柳橋は撤去されましたが、「昭和二年七月竣工」と刻まれた橋の門柱とアーチの一部は残され、現在も往時のにぎわいをしのぶことができます。



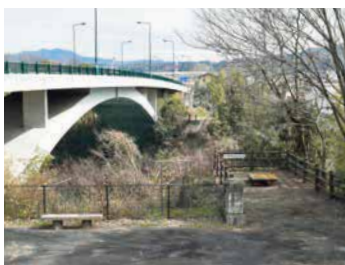
今回乗車したバス
むくの木・そうきち線
（左まわり）4便に乗車

10時52分 美濃太田駅南口
11時08分 深渡公民館
徒歩・散策
11時51分 魚周商店
12時05分 美濃太田駅南口



▲下米田町側では、青柳橋の歴史をパネルで紹介しています

☎文化の森 ☎28・1110



▲森山町側から見た旧青柳橋と青柳大橋